

令和8年第1回宝塚市議会（定例会）代表質問一覧表

令和8年2月26日（木）～3月2日（月）

	会 派	議 員 名	発言時間	予定時間
2月26日	日本維新の会 宝塚市議団	中山 ゆうすけ 議員	120 分	9:30～11:30
	たからづか真政会	浅谷 亜紀 議員	120 分	12:45～14:45
2月27日	公明党議員団	中野 正 議員	120 分	9:30～11:30
	市民ネット宝塚	北野 聡子 議員	120 分	12:45～14:45
	ともに生きる 市民の会	梶川 みさお 議員	120 分	15:00～17:00
3月2日	結志の会・ たからづか改革の道	泉 友紀 議員	120 分	9:30～11:30
	日本共産党 宝塚市会議員団	田中 こう 議員	120 分	12:45～14:45

※ 議事の進行により、若干時間が前後することがあります。

順位	発言事項及び発言者
1	<p>1 本市における行財政改革の行方</p> <p>(1) 行財政改革の方向性について</p> <p>2 基本方針と重点施策について</p> <p>(1) 医療と福祉</p> <p>ア 「たからづかモデル」の中長期ビジョンは。また、総合的な計画は策定するのか</p> <p>イ 売布東の町に整備予定の福祉の拠点について、既存の福祉施設との整合性は</p> <p>(2) 子育て・教育</p> <p>ア 「国際バカロレア教育」の西谷地域での導入について、具体的なスケジュールは</p> <p>イ 特認校である西谷小・中学校に関して、令和7年度の途中で「探究型学習」を打ち出したため、令和6年度中の募集（令和7年度入学者の募集時）とは方向性が変わったように感じられる。どのように説明するのか</p> <p>ウ 県立・私立高等学校との連携の在り方について</p> <p>3 主な施策について</p> <p>(1) 都市経営</p> <p>ア 「次長級職員を中心とした部局横断的な連携」について、具体的な中身は</p> <p>イ C X O 補佐官による「ビジネススキルアップゼミ」について、目標・成果指標の設定は</p> <p>ウ 公共施設（建築物）再編計画について、過去の計画と比較した上で意識していく点は</p> <p>エ 協働のまちづくり推進について、市民の主体的な参画を促す具体策は</p> <p>(2) 安全・都市基盤</p> <p>ア 南海トラフ巨大地震への備えについて、地域との連携をどのように構築するか</p> <p>イ 都市計画道路について、多くの変更が生じる中、必要性や意義、予測される効果の変化は</p> <p>ウ シェアサイクル事業の方向性について</p> <p>エ 中山台ニュータウンにおける公民連携での再生事業について</p> <p>オ 持続可能な水道事業に向けた方向性と、市民への周知について</p> <p>(3) 健康・福祉</p> <p>ア 市立病院の経営強化に向けた取組は</p>

- イ 福祉人材確保のための具体的な方策は
- (4) 子ども・教育
 - ア 多様な主体による学童保育の運営について
 - イ 夏期臨時地域児童育成会について取組の進捗は
 - ウ 物価高騰の中、学校給食の量・質をともに担保するための取組は
 - エ 市立学校園の将来的な再編と建て替えのビジョンは
- (5) 観光・産業・文化
 - ア 温泉のまちとしてのPR・ブランディングについてどのように取り組むか
 - イ マンガ・アニメの聖地化について、中長期計画を策定するのか。また具体的な内容は
 - ウ 宝塚ブランド「モノ・コト・バ宝塚」について、目標・成果指標の設定は
 - エ まちを象徴するイベントの創出・再興についての見解は。また市として宝塚フェスタをどのように意味づけ、位置づけるのか

(日本維新の会宝塚市議団 中山 ゆうすけ 議員)

- 2
 - 1 基本方針と宝塚市の未来に対する市長の考えについて
 - (1) 「誰もが安心して暮らし続けることのできる、持続可能なまちづくり」とあるが、市長が目指す宝塚市の具体的な将来像と、実現に向け令和8年度にまいていく種はどのようなものか
 - (2) 財政の硬直化の一因とされる「解決されずに積み残されている過去からの市政課題」とは具体的に何を指し、令和7年度の財政健全化策による今後の財政的影響をどう見込んでいるか
 - (3) 国が打ち出す「地域未来戦略」において、宝塚市はどのような策を講じるか
 - (4) 売布東の町に整備される「福祉の拠点」について、総合福祉センター等既存の公共施設との機能融合（集約化）をどう考えるか
 - (5) 「市民と市長の対話ひろば」の開催頻度と参加市民の数の見込みは
 - (6) 市長給与の50%減額はいつまで続けられるのか
 - 2 令和8年度の主な施策について
 - (1) 都市経営
 - ア 地域自治組織において自治会の連合体の課題をどのように捉え、市としてどう向き合うか
 - イ 公共施設等総合管理計画の改定において、現計画をどのように総括し、将来に向けどのように変えていこうとするのか
 - ウ 土地開発公社の経営健全化に向けた方策は

エ 公共施設（建築物）包括管理業務委託により起こりうるデメリットの補完体制は

オ 受益者負担の適正化について、一括的な改定の後、個別事項についての検討はどのように議論されるのか

(2) 安全・都市基盤

ア 西谷地域の公共交通について、「新たな事業者による試験運行」とは

イ ウォーターPPPについて、令和8年度に行う準備とは

(3) 健康・福祉

ア 市立病院の経営健全化及び建て替えにおける既存施設の他機能への再利用について

イ 介護予防における通所型サービスと訪問型サービスを組み合わせた短期集中的な支援とは

(4) 子ども・教育

ア 地域児童育成会において、居住している小学校区以外を利用する場合の児童の安全策及び児童館等の活用について児童館側との協議は進んでいるのか

イ 長い年月をかけて行っている市立小学校の適正規模・適正配置に向けた取組は、「進める」だけでなく、子どもたちのために結論を出していかねばならないと考えるがどうか

ウ 部活動地域移行（展開）について、進捗状況と子どもたちの選択の幅はどの程度狭まるか

エ 学校給食について、「国の無償化に伴う小学校給食費の減額」とあるが、中学校含め質の向上については検討されているか

(5) 観光・産業・文化

ア ナチュールスパ宝塚について、2億6千万円と大きな予算をかけて改修するに至った経緯と今後の方向性は

イ 農福連携について、推進するために令和8年度に検討の場を設けるべきではないか

ウ 花き・植木産業の具体的な振興策は

エ 宝塚ハーフマラソンについて、このイベントの市民にとっての重要性をどのように認識し、「時代に即した大会」の具体的な意味合い、また今年度開催するか否かはいつまでに決めるのか

オ 10月に宝塚ゴルフ倶楽部で開催予定の日本女子オープンゴルフ選手権に來られるであろう二、三万人ものギャラリーを宝塚市の観光にどう生かすか

(たからづか真政会 浅谷 亜紀 議員)

3 1 市政運営の基本方針と令和8年度の重点施策について

(1) 医療と福祉

ア 市立病院建て替えを契機とした「たからづかモデル」の構築による小浜地域を医療の拠点とすることと、売布東の町に福祉の拠点を整備することの検討について

(2) 子育て・教育

ア 国際バカロレア教育の導入に向けた調査研究は令和8年度に行い、令和9年度からの導入と考えていいのか

イ 西谷地域に教育の拠点を置くと考えていいのか

ウ 放課後児童クラブ待機児童解消への包括的取組とは

エ 市内県立高校や私立学校との連携強化について、市のイベントへの生徒の参画とはどのようなイベントを考えているのか。また探究的学びの支援とは

(3) 安全・都市基盤

ア 持続可能な公共交通の構築について、昨年度の他地域の公共交通の実証実験検証後の取組はどうするのか

イ 新たな移動手段の普及促進はシェアサイクルのみなのか。他の手段の検討は

ウ 中山台ニュータウン再生事業推進について、地域課題とその解決方法とまちの活性化の具体的な内容は

(4) 観光・産業・文化の振興

ア 令和10年(2028年)の手塚治虫氏生誕100年に向けた取組について関係機関・団体との連携の具体的な関わりは。またイベント企画、プロモーションなど様々な事業について具体的な内容は

2 令和8年度の主な施策について

(1) 都市経営

ア 組織経営のビジョンの策定について具体的な内容は。また策定や実施の時期は

イ 庁内での自主的な業務改善について、宝塚市役所業務改善アワードの効果は

ウ 生成AI本格導入とは具体的に何を導入しどのように活用するのか

エ 公共施設マネジメントについて、公共施設等総合管理計画の改定の内容と公共施設(建築物)再編計画策定の内容は

オ 協働のまちづくり推進の「つながりカフェT a C o L A B (タカラコラボ)」とは

カ 第4次宝塚市人権教育及び人権啓発基本方針の改定に向けての市民意識調査の具体的な内容は

キ 平和施策の継続について、「戦争の悲惨さ、平和の尊さ」をいかに伝えていこうとしているのか

(2) 安全・都市基盤

- ア 備蓄倉庫の老朽化に伴う更新について具体的な場と更新する内容は
- イ 高度化する消防・救助要請の具体的な例は。また逼迫する救急要請の詳細は
- ウ 都市計画道路荒地西山線及び競馬場高丸線の完成時期は
- エ 水道の基本料金の減免について本来であれば2期4か月行うが、それ以上できなかつた理由は
- オ 下水道ウォーターPPPのメリット・デメリットは

(3) 健康・福祉

- ア 新病院整備における土壌汚染の可能性を調べる地歴調査は、現在の病院建設時に調査しなかつたのか。何か理由があり新たに調査しないといけないのか
- イ 新病院開院支援業務の委託の内容は
- ウ 予防接種について、妊婦へのRSウイルスワクチン、高用量インフルエンザワクチンの詳細は
- エ ひきこもり支援策の意見聴取のアンケート調査の内容は

(4) 子ども・教育

- ア 地域子育て相談機関の設置について課題はあるか
- イ 放課後の児童の居場所についての包括的な取組について、具体的な課題とそれを超えるための施策は
- ウ 学校給食については質の問題が問われているが、どう確保するか
- エ 中学校の部活動の完全地域移行についての課題と解決策は
- オ 学校園施設の施設マネジメントの考え方のうち、体育館の空調設備に対するランニングコストの考え方や負担の在り方について

(5) 環境

- ア 新ごみ処理施設整備推進について今年度の財政負担は

(6) 観光・産業・文化

- ア 企業や大学などが行う会議・研修・学会・展示会など「MICE（マイス）」の誘致に取り組むとあるが、宿泊施設が圧倒的に少ない宝塚でどう取り組むのか
- イ 市立温泉施設ナチュラルスパ宝塚の休館後の温泉を利用した新たな活用方策の検討とあるが、施設自体の老朽化や設備の故障など今後どうするのか
- ウ ベガ・ホールや文化創造館の施設マネジメントについての課題と今後について
- エ 宝塚らしい価値ある資源をブランド認定する「モノ・コト・バ宝塚」の今後についての具体的な施策は
- オ 宝塚ハーフマラソン大会の見直しについて、どのように見直していくのか

4

1 市政運営の基本方針

- (1) 社会基盤を揺るがす多くの問題の顕在化に対応していくために本市が取り組む方向性について
- (2) 「市民と市長の対話ひろば」について
- (3) 市立病院を中心とした医療・福祉・介護・保健に係る「たからづかモデル」の構築について
- (4) 全ての人が集い交流することができる「福祉の拠点」整備について
- (5) 手塚治虫氏生誕100年とマンガ・アニメの聖地化に向けたイベント企画、プロモーションについて

2 都市経営について

- (1) 働きがいがあると職員が実感することができる組織経営のビジョンについて
- (2) 協働のまちづくりの推進「つながりカフェT a C o L A B（タカラコラボラボ）」について
- (3) 人権尊重のまち、ハラスメントや差別のないまちづくりの推進について
- (4) 平和施策について

3 健康・福祉

- (1) 市立病院の「新病院整備基本計画」について
- (2) 2026年度からの医療体制強化と診療内容の充実について
- (3) 障がい福祉の支援体制の整備と拡充について

4 子ども・教育

- (1) 放課後の児童の居場所に係る包括的な取組について
- (2) 探究型学習のプログラムである「国際バカロレア教育」の西谷地域での導入について
- (3) 学校給食について
- (4) 中学校の部活動地域展開について
- (5) 不登校対策について
- (6) 校区変更や統廃合を含め、適正規模・適正配置に向けた取組について
- (7) 学校園施設について

5 観光・産業・文化

- (1) 「MICE（マイス）」の誘致について
- (2) 市立温泉利用施設ナチュラルスパ宝塚の休館と新たな活用方策について

	<p>(3) 宝塚ハーフマラソン大会について</p> <p style="text-align: right;">(市民ネット宝塚 北野 聡子 議員)</p>
5	<p>1 「市民と市長の対話ひろば」の成果と課題</p> <p>(1) 「市民と市長の対話ひろば」の成果と課題は</p> <p>2 市政運営の基本方針と令和8年度重点施策について</p> <p>(1) 公約の趣旨にある「様々な理由により厳しい生活を余儀なくされている方々へ寄り添った」行政が進められているか</p> <p>(2) 医療と福祉</p> <p>ア 「たからづかモデル」の進捗状況と今後のスキームは</p> <p>イ 売布東の町に福祉の拠点を整備するための検討内容は</p> <p>(3) 子育て・教育</p> <p>ア 「国際バカロレア教育」について</p> <p>(ア) 具体的なスケジュールと教員等の人員確保策は</p> <p>(イ) 「市内全域から通学可能」にするための交通手段は</p> <p>3 令和8年度の主な施策について</p> <p>(1) 都市経営</p> <p>ア 「組織経営のビジョン」の具体的な内容は</p> <p>イ 次長級職員を中心とした部局横断的な連携の目的とその成果は</p> <p>ウ 「つながりカフェT a C o L A B (タカラコラボラボ)」の成果と課題について</p> <p>(2) 安全・都市基盤</p> <p>ア 公共交通について</p> <p>(ア) 南部地域のバス路線の改編や減便に対する移動手段の確保について</p> <p>(イ) 西谷地域の活性化のための移動手段の確保について</p> <p>イ 水道基本料金の減免について、12月補正をしなかった理由は</p> <p>(3) 健康・福祉</p> <p>ア 市立病院について</p> <p>(ア) 7階西病棟再開と産婦人科再開について、それぞれの患者受入体制はどのようなのか</p> <p>(イ) 手術支援ロボットの適用範囲の拡大について</p> <p>イ 介護保険モデル事業について</p> <p>(ア) 「短期集中的支援の取組」の具体案は</p>

ウ 障害福祉事業者の法定研修費用助成の具体的な内容は
エ ひきこもり支援策につながるアンケート調査の手法や、成果をどう生かすのか

(4) 子ども・教育

ア 子ども家庭支援センター内に設置する「地域子育て相談機関」と「あのね」等との連携方法と組織体制等について

イ 放課後の児童の居場所について

(ア) 地域児童育成会等の待機児童対策について

(イ) 地域児童育成会の支援員等の欠員補充について

(ウ) 市が考える適切な育成料とは

ウ 国による学校給食費の減額における保護者負担の軽減について

(ア) 年間の負担軽減額は

(イ) 非喫食児童生徒への支援の公平性についての見解は

エ いじめや不登校対策について

(ア) 校内サポートルームでの別室登校指導員及びA s s i s tスタッフの配置をどう充実するのか

オ 市立幼稚園の適正規模、適正配置についての市の見解は

(5) 環境

ア 新ごみ処理施設の発電による効果について

(6) 観光・産業・文化

ア 観光振興「M I C E (マイス)」の誘致について

(ア) 本市が想定する具体的なターゲット層は

(イ) 他都市にはない本市独自のアピール点の分析は

イ 「宝塚ハーフマラソン大会」の運営上の課題とは

(ともに生きる市民の会 梶川 みさお 議員)

6 1 市政運営の基本方針・重点施策

(1) 財政の硬直化の要因認識と「聖域を設けない不断の行財政改革」の具体像及び判断基準は

(2) 限られた財源の中での重点施策 (いのち・暮らし・未来) への予算配分の考え方は

(3) 施策の成果検証 (K P I の設定・公表) と市民・事業者・専門家との対話を政策に反映する仕組みは

2 令和8年度の主な施策

(1) 都市経営

- ア 行財政経営行動計画に基づく改革の進捗と成果指標は
- イ 組織経営ビジョン策定の狙いと人材定着への効果は
- ウ 部局横断的な連携強化の具体的な推進体制は
- エ 生成AI本格導入の位置づけと市民サービス向上への具体的活用は

(2) 安全・都市基盤

- ア 防災関係機関及び災害協定事業者との連携強化の具体的な取組は
- イ 西谷地域における移動手手段確保に向けた試験運行のスケジュールは
- ウ シェアサイクル等の新たな移動手手段の導入と活用の方向性は
- エ 水道及び下水道ビジョン2035に基づく料金水準検討の進め方は

(3) 健康・福祉

- ア 売布東の町に整備を検討している福祉拠点について、想定している機能や関連施設の範囲は
- イ 小浜地域を医療拠点とする連携（医療・福祉・介護・保健）の具体像は
- ウ 市立病院7階西病棟の再開と産婦人科入院診療再開の位置づけと具体的な効果は
- エ ひきこもりの実態把握の方法と今後の支援の方向性は
- オ 障害福祉の人材の確保・定着に向けた研修費助成の目的と期待される効果は

(4) 子ども・教育

- ア 放課後児童クラブの待機児童の現状認識と今後の見込み、待機児童が発生している要因の分析は
- イ 放課後の児童の居場所に関する包括的な取組の全体像は
- ウ 育成料の検討基準と公費負担及び保護者負担とのバランスは
- エ 西谷地域での国際バカロレア教育導入に向けた具体的な制度設計は
- オ 学校規模適正化（校区変更・統廃合）に向けての進め方は

(5) 環境

- ア 新ごみ処理施設整備の事業費見込みとスライド条項における増額リスク及び今後の財政影響は

(6) 観光・産業・文化

- ア ナチュラルスパ宝塚の休館の判断経緯と温泉を生かした新たな活用方策の方向性は
- イ 宝塚ハーフマラソン大会における運営上の課題の検証状況と今後の見直し方針は
- ウ 手塚治虫氏生誕100年に向けた取組の位置づけと文化資源としての活用方針は
- エ MICE（マイス）誘致に向けた具体的な取組内容は

- 7 1 市民の「いのちとくらし」を守るために
- (1) 市民の暮らし最優先の都市経営
- ア DX・生成AI導入に関して、利便性の向上を図りつつ、個人情報保護と公務の質の確保をどう担保していくのか
- イ 核兵器禁止条約、非核三原則について、宝塚市が加盟する平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会それぞれの見解は
- ウ 市長は、憲法9条が戦後果たしてきた役割と、現在の緊迫する国際情勢下におけるその重要性をどう認識しているか
- (2) いのちと安全を守る都市基盤の強化
- ア 競馬場高丸線と山手幹線の道路整備、これら道路の完成を前提とする仁川団地の解体着手について、現時点ではいつ頃を想定しているのか
- イ 水道料金の負担軽減の必要性について、どう認識しているのか
- (3) 公的責任で支える医療・福祉の充実
- ア 高すぎる国民健康保険税の負担軽減のために何が必要か
- イ 海外帰国者に係る国民健康保険料の前納方針に対する本市の見解は
- ウ 高齢者向けの「短期集中型自立支援モデル事業」の実施エリアと期待される効果は
- エ 売布東の町に整備予定の「福祉の拠点」は、どのような機能を備えるのか
- オ 「多様性」と「共生」の理念を実効性ある施策へ展開し、いかなる差別も許さない決意をどう市民に示すのか
- カ 数値化できない「寄り添い」の価値を、行政としてどう正当に位置づけるのか
- (4) 全ての子どもの成長を保障する子育て・教育を
- ア 「こども誰でも通園制度」について、保育の質と保育士の労働条件は担保されているのか
- イ 「地域子育て相談機関」の設置により、既存の相談センター「あのね」等とどのように連携を深めるのか
- ウ 放課後児童健全育成事業について、将来的な安定運営に向けた「育成料の検討」や「児童館・子ども館の利活用」の方向性は
- エ 放課後児童健全育成事業について、非営利2件、営利1件とした根拠は。営利事業者の参入に当たり、新たに整備する要綱等で設ける「質の担保」のための基準や条件は
- オ 部活動「完全地域移行」に向けた、受け皿となる地域クラブの体制整備、及び保護者・生徒への周知の現状は

カ 子どもたちの成長と教育の質を最優先に考えた「学校園の適正規模・適正配置」を今後どのように進めていくのか

(5) 未来へつなぐ環境政策

ア 脱炭素化を掲げ、再生可能エネルギーの導入を推進する本市において、原発、火力発電に対する市長の見解は

イ ごみ問題についてリサイクルと拡大生産者責任に対する本市の見解は

ウ 老朽建築物におけるアスベストの「放置リスク」をどう認識し、対策を講じるのか

(6) 市民生活と両立する観光・産業・文化・スポーツ振興

ア MICE（マイス）誘致による具体的な観光消費と地域経済への波及効果は

イ マンガ・アニメの聖地化に向けて、手塚治虫氏の理念でもあり、本市が大切にする「平和」や「人権」をどのように発信していくのか

ウ 宝塚温泉の歴史と文化、わかくさ湯からほっこり湯という銭湯が果たしてきた社会的役割、コミュニティ機能を今後どのように維持していくのか

エ 市民の誰もが、いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しめる環境づくりを、どう進めていくのか

(日本共産党宝塚市会議員団 田中 こう 議員)